

**日本を戦争する国にしてはいけない**  
**憲法を守るかながわの会第18回憲法集会**  
演題「岸田政権を暴く」講師 前川喜平さん 現代教育行政研究会代表



左から司会の町田清さん、前川喜平さん



上は国会報告をする福島みずほ参議院議員  
下は高校生平和大使によるカンパと署名コーナー



開会のあいさつをする山内正道さん  
(憲法を守るかながわの会代表)

憲法施行から75年を迎えた憲法記念日の5月20日(金)、2022年第18回憲法集会が横浜市内で開催され、210名Web参加除くが参加しました。開催は新型コロナウイルス感染が影響してから3年ぶり、合わせて憲法を守る新聞意見広告の賛同者は2561名の報告がありました。

**参議院選挙は党存続・改憲させない闘いだ!**



210名の参加者で熱気を帯びた講演会

オープニングは平和と自由を愛する演奏・合唱グループによる「ウェルカムコンサート」、連帯の挨拶は戦争をさせない神奈川の会代表の道田哲朗氏、2022年高校生平和大使からはカンパと署名の訴え。国会報告は「憲法を活かす政治を作ろう」として福島みずほ参議院議員(社会民主党党首)。講演は「岸田政権を暴く」をテーマに前川喜平氏(現代教育行政研究会代表 元文部科学事務次官)の盛り沢山の集会でした。



**軍事力・核武装ではなく  
大切なのは平和外交だ!**

福島みずほ参議院議員は国会報告で「新型コロナウイルス感染症によって、国民のいのちが危険にさらされ、解雇・雇止め、非正規雇用の増大、物価の高騰、暮らしが脅かされ、貧困の格差はますます拡大している。これらは安倍・菅政権を継承するとした政治の責任、新しい資本主義と言いつつ具体的な対策を打てない



# 日本を戦争する国にしてはいけない！

## 前川喜平さん講演



熱弁で訴える講師の前川喜平さん

『岸田政治の責任』と指摘」。さらに「7月参議院選挙に私も比例区から立候補する予定だが、日本社会が平和、自由、平等、共生という理念を掲げる政党の存続が危ぶまれている。『党存続・改憲させない』、憲法9条を変えさせない、社会民主主義の実現のため皆さんと共に頑張る」と決意し訴えました。

**敵基地攻撃・軍備増強で平和は守れない！  
戦争は市民の犠牲、一部権力者・軍需産業の利益！**

前川喜平氏は講演で「ロシアへのウクライナ侵攻の問題点」を揚げ「戦争や武力の行使を禁じた国連憲

章違反。日本国憲法でいえば憲法前文にある平和主義の理念にも合わない。岸田政権はロシア、中国、北朝鮮を揚げ、敵基地攻撃論・軍事費はGDPの1%から2%約10兆円など軍事費の増大、核共有論など憲法審査会で議論を提起しているが、私たちは今こそ憲法前文や9条戦争放棄の理念に基づき他国との平和外交、経済的関係を深め武力紛争を絶対に避けることが問われている」として、警鐘を鳴らした。さらに「戦争は悲惨で多くの若い兵士、市民が犠牲になる。一方で多くの税金が軍事費に投入され、一部権力者、軍需産業が利するだけで、その結果、社会福祉予算・教育費などが減額され、経済・国民生活はひっ迫するだけ。かつて、シリア、イラク、アフガニスタン、ベトナムなどで戦争があったが、私たちは非核三原則に忠実に二度と戦争をしてはならないし、巻き込まれてもいけない。日本を戦争する国にしてはいけない。沖縄をはじめ国内を戦場にしてはならない」など釘をさした。「そして7月参議院選挙では護憲勢力をつぶしてはいけないし、そのためには福島みずほさん勝利に力を貸してほしい」と閉めた。



## ながわの会第18回憲法集会

「岸田政権を暴く」講師 前川喜平さん 現代教育行政研究会代表



平和と自由を愛する演奏・合唱グループの皆さんと前川喜平氏（左）、右は福島みずほ参議院議員による合唱